

# 第72回 IBS セミナー 山川最終講義のご案内



Institute of Brain Science  
Graduate School of Medical Sciences  
Nagoya City University

## てんかん・神経発達症と ゲノム医療

講師：山川和弘 教授

名古屋市立大学 大学院医学研究科  
神経発達症遺伝学分野



日時：2026年3月3日（火） 17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス  
医学部研究棟11階 講義室A

本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンラインでの参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。

URL : <https://us06web.zoom.us/j/89794922262>

ミーティング ID: 897 9492 2262 パスコード: 20260303



振り返れば私の研究人生は分子遺伝医学の発展をなぞるように進んできたようにも思う。大学卒業後に入った民間企業ではDNAマーカーラムダファージDNAの200リットル大量調整から始まり子宮頸がんウイルスゲノム解読で数百枚の放射性元素入り大判泳動ゲルと格闘し、サンガー解析はその後の中村祐輔研、留学先の米国UCLAでも続いた。研究では留学前の疾患原因遺伝子同定の基礎となる染色体遺伝的連鎖物理地図作成・疾患候補領域同定から留学中と帰国後の理研脳センターでのダウン症・てんかん・神経発達症の原因遺伝子同定・機能解析・マウスモデル作成・発症機構解明・遺伝子治療開発と進んだ。この過程で発症機構研究にパラダイムシフトをもたらした成果などを得たとの一定の自負もある。講義ではこれらについて簡単に紹介する。また、世界ではゲノム解析技術は急速な進歩を遂げ、ヒト全ゲノム30億塩基を5~10万円で解読できるようになり、これをベースとしたゲノム医療が急速に浸透しつつあるが、残念ながら日本でのスピードは遅い。私は「国費による全新生児・全国民（希望者）の全ゲノム解読」を提案しており、何故今、日本にこれが必要と考えるのか項目立てて解説したい。

世話人：鈴木俊光（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-8207, E-mail: toshi@med.nagoya-cu.ac.jp